

原水爆禁止 2019 年世界大会 メッセージ

1945 年 8 月、広島と長崎に原子爆弾が投下されてから 74 年目を迎える今年、被爆都市において原水爆禁止 2019 年世界大会が開催されますことは、大変有意義なことであり、敬意を表する次第です。

本年 5 月 1 日、改元により元号が「平成」から「令和」へと変わり、新たな時代を迎えました。元号「令和」には、人々が美しく心を寄せ合い、新たな文化を育むという意味が込められており、今までよりも更なる平和な時代となることを切に願っています。

先の大戦から長い年月が経過し、平和であることが当たり前となり、戦争の悲惨さや平和の尊さが希薄になってきています。実際に戦争を経験された方が少なくなる中、戦争の記憶を風化させないよう、令和の時代に活躍する次の世代に伝えていくことが重要です。

「非核・平和都市」を宣言した米原市では、市民の皆様とともに、戦争のない平和な社会、核兵器のない世界を求める訴えを今後も引き続き行うとともに、平和首長会議や日本非核宣言自治体協議会を通じて、世界の都市が国境を越えて連帯し、世界に核兵器の非人道性を訴え、核兵器の廃絶を求め続けてまいりたいと思います。

核兵器の廃絶と平和を願う多数の声は、争いのない世界へとつながる大きな原動力となるものと確信し、あらためて平和な社会づくりに努力することが「非核・平和都市」を宣言した米原市の責務であると認識しています。

最後になりましたが、御参会の皆様のご今後のますますの御活躍と御健勝を心から祈念申し上げ、原水爆禁止 2019 年世界大会へのメッセージといたします。

2019年6月18日

滋賀県米原市長 平尾道雄

